

生 — 奉仕精神を旺盛にする
 活 — 人の立場を深く理解する
 信 — 物を大切に
 条 — 礼儀作法を実践する

文徳点描

http://www.buntoku-h.ed.jp

熊本市西区池田 4-22-2 文徳高等学校
 TEL096-354-6416 FAX096-359-2373
 文徳学園通信 入試広報部
 2016年2月19日発行 第401号

今後の予定

2月

- 19日 一般入試合格発表
- 22日 期末考査(25日まで)
街頭補導・下宿訪問・服装検査
- 25日 国公立大学前期日程
- 26日 大掃除・卒業式予行
- 27日 卒業式
- 29日 2/27の代休

3月

- 1日 2年就職面談(18日まで)
読書週間(5日まで)
定期券検査
- 7日 2年SPI基礎テスト
- 8日 国公立大学中期日程
- 9日 頭髪・服装検査(学年・クラス)
- 11日 強歩会
- 12日 国公立大学後期日程
- 14日 進級認定会議
- 16日 体育大会リーダー選出
- 17日 学校交通安全日(600回)
教科書販売
- 18日 終業式・退任式
教科書販売
- 19日 新入生招集
- 21日 春期課外(26日まで)
- 24日 1・2年追考査・補充授業開始
- 27日 2年学習合宿(30日まで)
※変更になる場合があります。



2年地域・校内清掃



修学旅行—スキー研修

1年生が1月31日から2月4日まで、4泊5日の日程で修学旅行に出かけました。
 1月31日は、阿蘇くまもと空港から羽田空港まで飛行機2便に分乗して移動。その後お台場を2時間ほど散策した後、バスで新潟を目指しました。17時頃には宿泊所「ニューグリーンピア津南」に到着し、夕食を済ませてからスキー講話で翌日からのスキー研修に備えました。
 2月1日は、9時から「ニューグリーンピア津南スキー場」で開校式が行われ、終日ゲレンデで奮闘していました。スキーは初体験の生徒が多く、初めは恐る恐る滑っていましたが、1日目が終わるころにはかなり上達していました。
 2月2日も終日研修を行い、上級コースから滑り降りてくる生徒もいました。スキーで滑る心地よさを覚えた生徒は、研修の終了が心残りだったようです。
 2月3日は、朝食後の8時にバスで東京をめざし12時半頃に浅草ビューホテルに到着しました。部屋で荷物を整理した後、班別自主研修へと出かけました。昼食と夕食は自分たちで済ませ、20時半までにホテルに到着するように、あらかじめ計画したコースをもとに、初めて自分たちだけで東京を散策しました。



修学旅行—食事光景

高校生活の思い出 1学年修学旅行

2月4日の午前中は、各クラスで決めたコースで都内を回り、13時に羽田空港に集合しました。午後の飛行機で阿蘇くまもと空港をめざし、学校には18時半頃に到着しました。
 学校では、沢山のお土産を手にし、保護者や兄弟の出迎えに對面している笑顔は、修学旅行の楽しさを物語っているようでした。
クラスマッチ
 2月3日に、2学年のクラスマッチが行われました。男子はサッカー、女子はバスケットボールでした。
 サッカーが行われたグラウンドでは、生徒がボールを追いかけ、必死に走る姿、選手を応援する生徒など、教室ではなかなか見ることができない姿を見ることができました。バスケットボールが行われた体育館では、



修学旅行—クラス別見学(東京大学)

1月20日に、2学年による校内及び地域清掃が行われました。校内の特別教室や学校周辺の泉道沿いをきれいにしました。寒い中でしたが、生徒は細かいところまで気を配っていました。
校内及び地域清掃
 1月20日に、2学年による校内及び地域清掃が行われました。校内の特別教室や学校周辺の泉道沿いをきれいにしました。寒い中でしたが、生徒は細かいところまで気を配っていました。



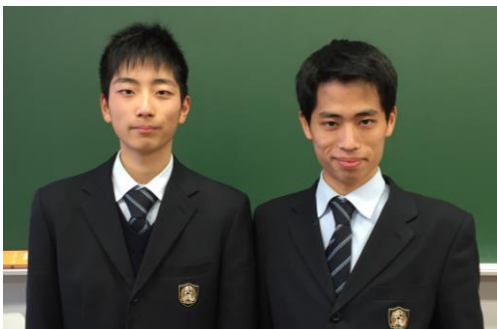
2年クラスマッチ



2年クラスマッチ

ボールを奪い合う女子のパワーを目の当たりにできました。授業中は大人しく目立たない生徒でも、クラスマッチでは積極的な姿をみせてくれました。それぞれのクラスで団結が深まったことと思います。

あるとき、知人が亡くなり葬儀に参列しました。高校生の娘さんが制服を着用して葬儀に臨んでいましたが、短いスカートで焼香していました。すると周りから、ひそひそと「親の葬式ぐらいきちんとできないのかね」といふ声が聞こえ、小さな声で親が悲しむよと、小さな声が聞こえてきました。その娘さんは親を亡くし、辛く悲しい気持ちと、今まで育ててくれた親への感謝の気持ちで葬儀に臨んだのでしたが、親との最後の別れに「親に恥をかかせてはならない」との思いに達してはならないのでしよう。人は面と向かって忠告しないまでも、心で感じたことを人に話したりします。自分の置かれた立場や状況を判断してその場に臨むことが大切です。
 学校生活でも同じことが言えます。学校は学びの場所であり、お洒落披露の場ではありません。



第一種電気工事士合格の荒木君と西山君

服装が示すもの
生徒指導部より
 「場に則した服装・頭髪を自ら実践する」という気概が心に芽生えてこそ、はじめて社会に通用する人物たり得るものだと思います。最低限守らなければならぬ服装・頭髪の基準さえも、ないがしろにするような生徒は、仕事に就いても責任を伴う仕事はできないと心得たいものです。

選択科目ガイダンス
 2月10日に、1学年普通科の生徒を対象に「選択科目ガイダンス」が開かれました。2年次から



ガス溶接技能講習会

ガス溶接技能講習会
 12月24・25日に、ガス溶接技能講習会が実施され、理工科の2年生21名、3年生7名が受講

らの理科・社会の選択についての説明です。理科の選択については、国公立大学と私立大学の文系・理系の募集定員とBラインについての説明や、九州内の国公立大学理系学部のセンター試験と個別学力試験での理科選択指定から、理科の選択を間違えると大学を受験できない場合があることが説明されました。
 社会でも、受験希望大学でのセンター試験科目を考慮した選択の必要性や、2年次以降の授業時間数や授業進度等が説明されました。
 1年生は、3か月後には2年生になります。理科・社会の選択は、自分の人生を左右すると言っても過言ではありません。将来のことを熟慮して選択してほしいと思います。

大学で身に付けるもの

進路指導部より(進学編)

国公立前期試験が2月25日に実施されますが、合格発表を待たずして2月27日にはいよいよ卒業式を迎えます。まだ進路が決定していない人もいるとは思いますが、卒業を迎える3年生諸君に最後のメッセージを送りたいと思います。自分の進路が確定した時点で読んでみて下さい。

第1志望に合格した人は本当におめでとう。合格は君自身が勝ち取ったものだし、周囲の人からの祝福を心から素直に受け止めることが出来るでしょう。そして、残念ながら第1志望に不合格になった人は、合格した他の大学に行くのか、それとも浪人して第1志望にこだわるのか、それは自分で考え結論を出しましょう。

特に、難関大学に合格する



はがき随筆の伊藤君

部活動等結果

計算技術検定1級特別表彰

昨年11月に行われた「第73回計算技術検定」1級で、赤時くん(2ST 清水中)が満点合格で特別表彰を受けました。

第1種電気工事士合格

12月6日に福岡市で行われた第1種電気工事士二次試験が行われ、荒木くん(2T1 江原中)と西山くん(2T1 泗水中)が合格しました。

情報技術検定1級合格

1月15日に情報技術検定が実施され、次の6名が1級に合格しました。

赤時くん(2ST 清水中) 貞岡くん(2ST 井芹中)
田中くん(2ST 鮑田中) 田中くん(2ST 西合志南中)
中村くん(2ST 西合志南中) 宮本くん(2ST 託麻中)

後期写真コンテスト優良賞

1月19日二、真和高校で「平成27年度熊本県高等学校文化連盟写真部後期コンテスト」の表彰式が行われ、本校から伊東さん(3F2 菊水中)が「翔ける」で優良賞を受賞しました。

弓道1年生大会優勝

1月23日に、植木市弓道場で行われた「第29回熊本県高等学校1年生大会」団体戦において、男子Aチームが優勝し、創部初の技能優秀校に選ばれました。男子個人戦においては219名出場の中で清藤くん(1F1 江原中)が優勝、女子個人戦においては186名出場の中で岡本さん(1F2 北部中)が3位という結果を残しました。団体戦のメンバーは次の3名です

清藤くん(1F1 江原中) 大田くん(1F1 井芹中)
中川くん(1F4 下城南中)

全国選抜相撲個人優勝

2月6日に、青森県武道館で行われた「第30回全国選抜高校相撲弘前大会」個人戦で川上くん(2T2 宇土鶴城中)が優勝しました。また、福田くん(2T2 佐敷中)は準々決勝まで進みベスト8に入りました。団体戦は決勝トーナメントまで進みましたが、準々決勝で敗れベスト8でした。団体戦のメンバーは次の3名です。

川上くん(2T2 宇土鶴城中) 福田くん(2T2 佐敷中)
大庭くん(2F3 鹿児島東城中)

はがき随筆年間賞準賞

1月31日に、毎日新聞の「はがき随筆秋季賞」の発表が行われ、伊藤くん(2T2 武蔵中)が「祖父への思い」で準賞に選ばれました。前季に引き続きの受賞でした。



情報技術検定特別表彰の赤時君

と、まるで「人生の成功者」になつたかのような錯覚を覚えてしまうかもしれません。逆にそうではない大学に進むと、「就職、大変だろうな」という思いを感じるかもしれません。しかし、人生というのはそんなに単純なものではありません。大学名で就職が決まる時代は、昔前のごとです。社会に出たら、大学で何をやってきたのか、社会人に向けてどういう準備をしてきたのか、それが問われるのです。世の中が高度に複雑化しているからこそ、本物の力のある人しか社会の上部では生き残れなくなっています。そして、社会人になっても努力を続けなければ、かなり大変な目に遭う時代になっています。

第1志望に合格したからといって、まるで「人生の成功者」になつたかのような錯覚を覚えてしまうかもしれません。逆にそうではない大学に進むと、「就職、大変だろうな」という思いを感じるかもしれません。しかし、人生というのはそんなに単純なものではありません。大学名で就職が決まる時代は、昔前のごとです。社会に出たら、大学で何をやってきたのか、社会人に向けてどういう準備をしてきたのか、それが問われるのです。世の中が高度に複雑化しているからこそ、本物の力のある人しか社会の上部では生き残れなくなっています。そして、社会人になっても努力を続けなければ、かなり大変な目に遭う時代になっています。

日本を背負う自覚

進路指導部より(就職編)

つて、人生で成功するとは限りません。逆に、第1志望の大学に進めなかった人でも、次の闘いでは絶対に勝つぞという気迫で努力すれば、大学受験の時の差は簡単に克服できます。

最後に、「この部分だけは他の人に絶対に負けない」という何かを大学時代に作って欲しいと思います。どんなに些細なことであっても、本当にそれが他の誰にも負けないものであれば、社会の中で大きな力を発揮することが出来ます。繰り返したくなりますが、大学名では人生は決まりません。大学入試の勝者も敗者も、いよいよここからが本当の人生のスタートです。他人に負けないものを求めて、これからまた努力を続けて下さい。そして、それを武器に世界中の困っている人々を助けることが出来るような人になって下さい。諸君の成功と活躍、そして幸せをここに青春の丘、文徳高校から切に願っています。

熊本労働局の発表では、12月現在の県内高校生の内定率は89.1%(男子91.6%、女子85.5%)です。就職を希望する県内の高校生は3,666人、まだ401人の生徒が就職未内定です(男子181人、女子220人)。本校では、就職希望者全員の内定を頂き、2年生の本格的な準備に入っています。

1月30日、厚生労働省主催の就職支援事業「2年生就職ガイダンス」を実施しました。講師3名の先生方に、コミュニケーション力を高める、さまざまな仕事・働き方を知る、会社作りゲームでは、生徒達の自由な発想が生かされた内容で、会場は大きく盛り上がりました。最後の模擬面接では、3グループに分かれ集団面接が行われました。講師の先生や生徒同士の評価を真摯に受け止めて



就職ガイダンス

いる姿に、大変好感を持ちました。僅か1日のことでしたが、生徒達は大きく成長したように思います。講師の先生方の感想ですが、質問すれば直ぐさま元氣な答えが返ってくるなど、しっかりとコミュニケーションの基本ができていてと感心しておられました。生徒諸君は、今回の貴重な経験を大切に、自分の可能性に積極的にチャレンジして欲しいと思います。また、

講師の先生方には、このような素晴らしいガイダンスを本校で開催して頂いたことを、心から感謝申し上げます。2月8日、校内における就職ガイダンスを70名の生徒を対象に実施しました。3月1日から就職面談に入りますが、就職の最前線に立つための覚悟を決めて頂きました。本人の覚悟があまりいと、就職試験の大きな壁に押し潰されてしまいます。少子高齢化が進む中、1億2682万人の人口は2050年には1億人を切ると言われていきます。日本の将来を背負っていく若者としての自覚を持ち、就職活動への万全の準備をお願いします。

文徳高校は頑張る君を最後まで応援していきます。

ご家庭より

1年普通科

今年初めての文徳点描。始業式での校長先生の訓話や、生徒指導部からの記事は、やはり心に残りました。それに加え、今月号にも部活動の優秀な成績が

数多く掲載されてきました。その活躍をよく見ると、鹿児島や長崎・福岡等、九州各地で行われる試合に出場されています。日々の練習ももちろん大変ですが、遠出の試合会場でも自分の力を発揮し、結果を残されている事がすばらしいと思います。私の子供も中学生の時は運動部で頑張りましたが、結果を出す事の難しさを感じていました。今後も文徳生の活躍を応援していきます。

緊急連絡QRコード



http://kinkyu.buntoku-h.ed.jp/

ご家庭より

1年普通科

1年普通科
昨年の12月に、寮から正門側に出ると、びっくりするほど大きく立派な門松が飾ってあり、久しぶりに日本のお正月らしいお正月を目で感じる事ができました。

2年後は、この門松にまけないくらい大きく成長して学び舎を巣立っていきたいと志を新たにしました。クリスマスイルミネーションも素敵ですが、門松は本当に重みを感じました。作っていただいた役員や役員OBの方々、ありがとうございます。

1年普通科(姉)

1年普通科
高校を卒業して4年。久しぶりにセンター試験の問題に目を通しました。当時は問題を解くのに必死で気付かなかったことですが、少しだけ人生経験が増えた今だからこその感じたことがありました。それは、試験はその問題を解く技術や能力だけを問うているのではなく、「未知の事象」にぶつかった時、自分が持っている知識をどう生かし、い



後期写真コンテストの伊東さん

私に似て、精神的に弱い所がありますが、娘には「己に負けず、強い信念を持って試験に臨めるように、日々の努力を積み重ねていってもらいたいです。」

1年普通科

1年普通科
文徳点描を楽しみに読ませていただいております。小学生の弟が学校からもらった新聞は年3回。文徳点描は毎月のように発行されるので、学校の行事・部活動の活躍など、情報が満載。

我が子が掲載される日があるか、楽しみに待っています。

1年理工科

1年理工科
結婚して19年。早起きが苦手な私は、主人のお弁当を作る事ができず、お弁当代を渡す日が多かったのですが、息子が高校に入学してお弁当がいらなくなり、今まで7時半に起きていた私も、4月からは5時45分に起きてお弁当作り。

1年普通科

1年普通科
1月16・17日にセンター試験がありました。娘もあと2年後にはセンター試験に臨むことになり。進路指導部の「大学入試に臨む心構え」を読み、私自身が高校の時、友達が推薦で早い時期に大学に合格し、とてもうれやましく思い、焦り・不安に打ちのめされそうになった経験があったことを思い出しました。娘も

2年普通科

2年普通科
来年の平成29年1月14日はセンター試験の日だそう。今年の試験が終わったばかりですが、その日まで、あと1年を切りました。

娘の危機感は一瞬もなく、おまけに先日挑んだ某予備校でのセンターチャレンジで、自分の無力さを感じ知らされ、「私、超ヤバいんだけど」と、ようやくスイッチが入ったように見えます。まだ間に合う。精一杯志望校を目指して頑張っていきたいと思います。



弓道1年生大会入賞者



全国選抜相撲弘前大会の大庭君・川上君・福田君

2年普通科

2年普通科
2月1日の文徳の専願奨学生入試合格発表の日、次男の結果を見に行きました。すぐに受験番号を見つけてホッとしましたが、長男の時は、初めての受験で、なかなか番号をみつけないことができず、泣きそうになったのを思い出しました。今度は長男の大学受験。頑張ってください。

2年普通科

2年普通科
「一生懸命だと知恵が出る。中途半端だと愚痴が出る。いい加減だ」といふ諺が出る」という言葉があります。

センター試験まで、あと1年もありません。後悔しないように頑張ってください。

2年普通科

2年普通科
息子が最近頑張っている。何をしようと、もちろん「勉強だ」。学校で受けた漢検の準2級に合格してからのやる気が出たのだろうか。次に受けた2級は惜しくも不合格だった。しかし、近々また挑戦するという。いろいろな参考書や問題集を買い込んで使いこなしている。



情報技術検定1級合格者

2年理工科

2年理工科
先日の奨学生入試を弟が受けました。2月1日の発表まで、2年ぶりの緊張感を味わいましたが、おかげ様で無事に合格する事ができました。家で兄弟が話をするのは、ほとんどありませんが、毎日登校してくる姿に、しっかりと確認をしてくれたり、帰りに着くなり「○○が受験したら、とても通りそうにない。以前は、苦手なものになるべく避けて通る傾向にあった息子だが、文徳に入ってから少しずつ成長しているようだ。漢検のみならず、英検にも挑戦している。中学時代、あんなに苦手だった英語も、最近では成績が上がっている。息子なりに学習の「コツ」をつかんできたようで嬉しく思う。

漢検や英検の必要性を説明し、受験を勧めたくださる学校のご指導には、心から感謝しています。この勢いで、大学受験も突破してほしい。

新聞投稿欄掲載者

- ・和合くん(2T2 泗水中 1/17 毎日)
- ・貞岡くん(2ST 井芹中 1/19 熊日)
- ・宮本くん(2ST 託麻中 1/29 朝日)
- ・植野くん(2T2 岱明中 1/31 毎日)
- ・田中くん(2T2 天草中 2/2 読売)
- ・村上さん(3ST 東町中 2/5 朝日)

2年理工科

2年理工科
「将来のためのエンジン作り」。いい言葉ですね。自分自身が高校生のような気持ちで読ませていただきました。息子のために、基礎となる生活作りを頑張ろうと思えました。

あとは本人が目標を持ち、エンジン作りを迷いながらも、自分の思い通りに飛んでほしいものです。

お知らせ

2月26日発行の、熊日「高校生のページ・青き1票」というコーナーで本校ディベート愛好会の部員が熊本高校の生徒と討論をしている様子が掲載される予定です。

崇城大学通信 No.56

情報セキュリティは「カオス」で安全に
~小型デバイス向けの暗号の開発~



情報学部 情報学科

吉岡大三郎 (よしおかだいさぶろう) 准教授

インターネットでの盗聴、データの改ざん、相手の認証によるなりすましなどの犯罪には、どのようにして対策をたてるのかご存知ですか? 日々進化している中、このような犯罪に対策として応用されるのが、暗号設計です。ID パスワードなどを鍵とすると鍵を知らない第三者にとって、解読が困難であることが安全対策として求められます。暗号設計は、認証情報、個人情報、注文情報、カード番号などを通信の秘匿性や認証を実現するセキュリティの基板技術です。そこで重要なことは、「いかに実装効率を上げ、解読出来ない難しさを持たせることができるか?」が課題となっています。私の研究室では、簡単な方程式に基づく不規則で複雑な現象である「カオス」を応用する暗号の研究を行っています。世界中で通信端末の小型化のニーズが高まっておりますので、効率よく実装できる軽量暗号を実現し、情報の安全に役に立ちたいと日々研究しています。